

6年生のみなさんへ



今日から5月になりました。

今日は立春(今年は2月4日)から88日目の八十八夜という日です。ちょうど春から夏に変わる頃であたたかく、緑豊かな気持ちの良い日ですね。

八十八夜の頃につまれたお茶葉から作られる新茶はとても栄養があっておいしいと言われています。今実際に新茶を飲むことは難しいですが、あたたかい緑茶とちょっとした和菓子など、いつもとは違ったおやつを食べながら季節の変わり目を感じてみるのも良いですね。

さて、休校が続くなかですがみなさんはどのように過ごしていますか。

この前、電話で6年生のみなさんと話したとき、読書をしているという声を聞きました。みんなで命を守るために、外出を自粛するもどかしい日々ですが、今だからこそできることを探してみてください。

先生はこの前の日曜日に、かけ算の暗算が素早くできるインド式計算というものを勉強してみました。インドではかけ算の暗算を 20×20 まで勉強するところもあるそうです。

そんなインドで使われているインド式計算の一部を紹介します。

◎インド式計算の一部

○使える条件

- ・二けたの数同士
- ・十の位が同じ
- ・一の位の数を足すと10になる

例 26×24 36×34 57×53 等

《やり方》

26×24 の場合

- ①十の位の数と、その数に1足した数をかける→ $2 \times 3 = 6$
- ②一の位の数をかける→ $6 \times 4 = 24$
- ③ ①の答えを百の位、②の答えを一の位に合わせて組み立てる→答え 624

36×34 の場合

①→ $3 \times 4 = 12$

②→ $6 \times 4 = 24$

③→1224

57×53 の場合

①→ $5 \times 6 = 30$

②→ $7 \times 3 = 21$

③→3021

決まりを理解できましたか。

理解できたら下の問題も解いてみてください。

- ① 13×17 ② 24×26 ③ 72×78 ④ 98×92

答え ①221 ②624 ③5616 ④9016

解けましたか。インド式計算は条件にあっていれば暗算ですぐに計算することができます。

他にも簡単に計算できる条件はありますので興味をもった人は調べてみてください。

この期間を利用して興味があることを見つけ、知識をつけるのも面白いですね。

それではみなさんと会えるのを楽しみにしています。

健康で、学びある日々を過ごしてください。